

エゾシカ関連行事

文化の日講演会 

聴講
無料

植物を食べるシカ、 シカに食べられる植物



2019年11月3日(日) 13:30-15:30

高槻さんは、学生時代に宮城県の金華山島をフィールドとして以来、ニホンジカの生態学研究をながく続け、シカと植物群落の関係を解明してきました。シカが「食べる」ことで減ってしまう植物、「食べない」ことで増える植物。そして、シカに「食べられる」ことで他の植物との競争に勝ち抜く植物。シカの体の特徴から、その行動と植生にどんな相互関係があるのかまで。意外と知らないシカについて、じっくり学べる講演会です。

高槻成紀氏 (麻布大学いのちの博物館)

場所：北海道博物館 講堂

対象：どなたでも

定員：80名 (先着)

高槻成紀 たかつき・せいき

1949年鳥取県生まれ。

東北大学大学院理学研究科修了。理学博士。

東北大学理学部助手、東京大学総合研究博物館教授、

麻布大学獣医学部教授を歴任し、現在は麻布大学いのちの博物館上席学芸員。

専攻は動物生態学、保全生態学。ニホンジカの生態学研究を長く続け、シカと植物群落の関係を解明してきた。

最近では里山の動物、都市緑地の動物なども調べている。

著書に『北に生きるシカたち—ササそして雪をめぐる生態学』(どうぶつ社。復刻版は丸善出版)、『歯から読みとるシカの一生』(岩波書店)、『シカの生態誌』(東京大学出版会)、『シカ問題を考える—バランスを崩した自然の行方』(ヤマケイ新書)、『野生動物と共存できるか』『動物を守りたい君へ』(岩波ジュニア新書)、『タヌキ学入門—かちかち山から3.11まで』(誠文堂新光社)、『都会の自然の話を聴く—玉川上水のタヌキと動植物のつながり』(彩流社)、ほか多数。

お申込みはこちら (受付時間 9:30~17:00)

☎ 011-898-0500